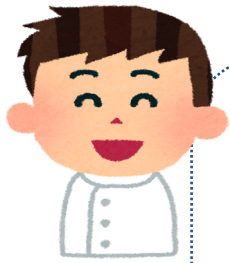


年中さん

えんいだより



こんにちは。少し暖かくなってきましたね。園の歯医者さんの松尾剛です。

前回のえんいだよりでは、むし歯予防にとっても大事なフッ化物やフッ化物洗口について、そしてシーラントについてお話をさせていただきました。今回はおとなの歯のむし歯予防で一番大事な「6歳臼歯」についてや、歯並びに関係するお話をさせていただきます。

すご〜く大事！6歳臼歯！！

5歳くらいから6歳にかけて、下の前歯が大人の歯に生え変わっていきます。前歯は普段よく見えるため、皆さんすぐに気づくのですが・・・

実は、



なに？なに？？

とっても、とっても重要な歯が、子どもたちのお口の**一番奥**から生えてきています！！一番奥の子どもの歯の、さらに後ろです！



あ、あつたー！

この6歳臼歯は、ご飯を食べるときにとっても重要です。将来の大人の歯全体の歯並びの中心にもなります。しかし、この歯はまた、大人の歯で最もむし歯になりやすい歯として知られています。今後生えてくる大人の歯は、子供たちが今後一生使っていく大事な歯です。まずはこの6歳臼歯を、しっかりと守っていきましょう！！まずは少しでも生えてきたらしっかりブラシを当てましょう。必要な場合はシーラントをしてもらいましょう





こどもの歯から、大人の歯へ

さて、6歳臼歯の話をしました、これから徐々に、こどもの歯が大人の歯へ生え変わります。この時期はお父さんお母さん方から、お子さんの将来の歯並びについてよくご相談を受けます。

さらば・・・
旅立ちます



今までありがとう。
さみしくなるわね

まず最初に生え変わるのは下の前歯です。下の前歯は内側に入り込んで出てきたり、少しねじれて生えたりすることはよくあります。

スペースがどのくらい不足しているかにもよりますが、経過を見るだけで成長とともに治ることもあります。見極めが大事です。気になる方は、一度かかりつけ医に相談をしてみてください。



歯並びや、かみ合わせの問題には大きく分けて二つの原因があります。

一つは「生まれつき」「遺伝」によるもの、そしてもう一つは日常の癖（くせ）など、歯が生えた後の影響によるものです。

この日常の癖をまずは気をつける様にしましょう。

たとえば、指しゃぶり、爪を噛む癖、唇を噛む癖、飲み込む時の舌の癖（ベロを前に出す癖など）などです。これらがあると、将来の歯並びに大きく影響することがあります。



ただし、原因となっている癖をなおすことで、歯並びが悪くなるのを防ぐことができます。これらの悪い癖を見つけたら、まずは本人に気づいてもらうこと。そして次に、止めやすい方法を一緒に考えてあげましょう。もし困ったら、歯医者さんに相談してくださいね。

気をつけるだけでも、歯並びが悪くなるのを予防することにつながります。ぜひ、意識してみてください。

